

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・新規出店が増えている、特に大型のショッピングセンターの出店が目立っている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・先日キャンペーンを利用して声かけ販売をしたところ、前年比325%という数字が出た。当店は主婦や高齢者の来客数が多く、声かけの対面販売がとても有効で、販売増につながっている。客も会話を楽しんでいるようである。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・愛知万博が終わった後、観光客が増加している。今年には紅葉が遅れたが、特に年輩の女性グループが目立っている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・政府からのウォームピズの提案もあり、ジャケット中心にニット、シャツなどでビジュアルな販売展開を行っている。最近はその動きで販売量が非常に増えている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・コートなど防寒衣料品の売行きが良いことに加え、羽毛布団など防寒リビング用品の販売が好調である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・1点当たりの単価は相変わらず下がっているが、プロモーションをしている単品については販売数量が伸びるようになってきている。バラ販売の詰め放題企画など、買い得感と参加する楽しさのある企画の商品は売れている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・急激な冷え込みにより、防寒衣料、防寒用品が好調に推移しており、秋物の厚手のトレーナーやニット、コート、ブルゾンが前年を大きく上回っている。昨年高騰した野菜の相場も今年は安定しており、鍋物商材の動きも好調である。点数、客単価の上昇から潜在的な消費意欲がようやく顔を出し始めたことがうかがえる。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・来年の冬季オリンピックが近づき、地元で地上デジタル放送が受信できるようになったことから、地上デジタル関連商品の動きが良くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型車が発売され、来客数、商談件数が増加し、受注台数も上向きになってきている。
		一般レストラン（業務担当）	販売量の動き	・通信販売、お歳暮受注の出足が前年より早く、金額も前年実績を大きく上回る予定である。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月は好天に恵まれたこともあり、県内在住者が県外コースから戻ったために来客数が増加している。県外の来場者の動きは相変わらず弱い。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・各美容院の来客数が増加しており、ここ最近、融資の相談件数も増えているので、良くなりつつある。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・最近安い土地についての引き合いが非常に増えてきている。特に安い物件には何人か客がパッティングするような状況である。不動産業はやや上向きである。	
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・例えば学校用品でも単価にうるさく、先生まで他社の商品うんぬんといってきており、厳しさもある。
商店街（代表者）		単価の動き	・客は必要なら高額品でも買うが、ナショナルブランド品は他店より安いという条件で購入している。商店街のエリア外に既存のスーパーよりかなり安い食品スーパーがオープンし、客が流れている。前年同時期と比べ、価格について特にシビアである。	
一般小売店〔精肉〕（経営者）		お客様の様子	・株価は上がっていても一般物価は低調に進んでいる。安さが続き消費者は喜んでいるが、業者は大変である。売上は全く伸びない。	
一般小売店〔金物〕（経営者）		販売量の動き	・例年に比べ、割合暖かい日や好天が続いたことで、工事関係が結構順調に進んでいる。冬場に向かってやや売上が落ちるところだが、まあまあ推移となっている。	
スーパー（総務担当）		来客数の動き	・来客数はここ数か月上昇傾向にある。ただし、単価については前年を割っているため、トータルでは横ばい、あるいは若干上向きというところである。	

	スーパー（販売促進担当）	来客数の動き	・3か月前に比べて売上が102%と伸びているが、内容をみると、クリスマスケーキ、お節、お歳暮等のイベント関係が伸びているだけで、全体としては大きく変わっていない。
	コンビニ（経営者）	それ以外	・地元ナンバー以外の車は、営業、観光共に入込が少ない。
	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・冬物セールと宝飾品の催事を企画し、ダイレクトメールを送ったが、思うように来店せず、売上は今一つである。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・このところ毎月展示会のための宣伝広告をしている。広告を打てばそれなりに販売量が出るが、ここ2～3か月は同じくらいの量しか売れていない。景気は多少良くなっているような気もするが、販売量からみると、良くも悪くもなく変わっていない。
	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・冬物の動きが前年同期に比べると良いが、数量ベースでは平年並みである。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・12月の忘年会シーズンを控えてか、サラリーマンやOLがランチを節約する傾向が強く、ランチタイムは低調であったが、週末のファミリー客が比較的好調であったため、前年の水準を維持することができている。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数はほぼ例年並みといえるが、基本単価が落ちてきている分、売上は確実に下がっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・今のところ忘年会、会議の後の懇親会が多少入っているが、単価が一向に上がらない。平均すると4～5千円がほとんどで、バブル期と比べて2～3千円の違いがある。これから先の忘年会も小さなグループだけの懇親会になりそうである。
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年よりは少し悪いが、月末から12月にかけて営業のあいさつ回りなどが徐々に増えてきていることから、先月よりは少し良くなっている。
	観光名所（職員）	お客様の様子	・紅葉が遅かったことから客の入込は例年に比べて多かったが、レストラン、ホテル関係の売上は一部人気のある店を除いては例年並みである。
	その他レジャー施設【アミューズメント】（職員）	お客様の様子	・インターネットカフェを中心として、物以外に対する客の欲求が継続している。リラクゼーション、安らぎといったものに対してお金を使っている。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・子供が減っているのか、写真屋や貸衣装屋がバック料金で美容部門も一手に行っているからか、前年よりも七五三の客、売上が減少している。一般客のカットなどはいつもとほぼ同じである。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・建設関連業界すべてが仕事の確保にやっきになっている。個人の住宅建設意欲はありそうだが、受注に結び付かない。他の設計事務所、建設業者共に同様の状況である。
やや悪くなっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・暇つぶしに雑誌を読みにくる客が目立っている。
	その他専門店【携帯電話】（営業担当）	販売量の動き	・冬のボーナス商戦に入ったこともあり、数回のチラシを打つなど精力的に取り組んではいるが、チラシ効果も新聞折込当日のみで、販売効果も薄く、売上も伸びていない。この傾向は当エリア全般にみられる。
	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・最近、新駅周辺での大型チェーン店の競争激化で、閉店したり営業者が代わるところが出てきている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・フリー客は低調、宴会は平年並みといった状況で良くなってきたような雰囲気がない。忘年会の予約も週末に集中し、他の日は良くない。
	その他飲食【居酒屋】（店長）	来客数の動き	・予約状況はかなり良かったが、ここにきて予約がぐっと減り、前年比をかなり下回っている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・とにかく利用客が少ない。午後になると2～8時ごろまでは駅からの利用客が少なく、1回営業するのに2時間程度掛かるのが現状である。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・10月後半より夜の客の動きが悪く、前年同月比で5%の減少である。
	設計事務所（所長）	販売量の動き	・基本的に収入が減っているということに加え、今回の耐震強度偽装の問題もあり、ちゅうちょするような動きがある。

	悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・恒例の商業祭りの人出も、にぎわったのは野菜の特売ばかりで、物販店への客入りは平日と変わっていない。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・11月は冬物、特に学生関係ではコート類の販売が中心となる。ダイレクトメールで案内を出したが、11月上旬に少し売れたくらいで持続するということがなく、大変残念である。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・10、11月共に月初の来客数は結構多く、それなりに好況感があったが、10日を過ぎたら極端に減少した。バーゲン待ちならば下見で来客数が増えるところだが、そういう雰囲気ではない。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・各社ともボージョレーヌボーに引っ張られ、秋口から新酒が順調に伸びている。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・忙しくて土日の出勤は当たり前になってきている。熟練工の不足をOBと他セクションからの応援でしのいでいる。ただし、来期の売上は期待できないので、新規の採用は控える。	
	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連は相変わらず好調で、受注量も多くなっている。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年の季節商品受注に加えて特注品の受注がある。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここにきて受注量が上がってきた。年内は残業で対応している状況である。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比115%で、徐々に2けたの伸びとなっている。前年は88%と大きく落ち込んだことを考慮すると着実に回復している。出稿枚数は増加していないものの、出稿サイズの大型化傾向がみられ、各社の意欲の高まりがうかがえる。	
	変わらない	一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・油圧機器業界を中心に取引先各社から一斉に年末に向けて増産要求が出てきており、対応に苦慮している状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が増えたところと減ったところの格差がはっきりしてきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月同様に、在庫調整をしている取引先があり、その分の受注量を他の客先でカバーできない状況である。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は官民とも全く増えていない。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・商業、不動産業、サービス業等からのスポットコマース件数は増加してきているが、官公庁、製造業からの中長期のタイムコマースの契約が減少傾向にある。地方都市での放送コマースは依然厳しい状況である。
やや悪く なっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関係の親会社がリストラで5%人員を削減する。それに伴い受注面も若干減ってきている。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月から11月にかけての3か月の店頭販売、催事販売は今一つ伸び悩んでいる。12月のクリスマス商戦に期待をするものの、前年同様に在庫調整と重なり、委託消化販売となりそうな気配である。	
	輸送業（営業担当）	それ以外	・荷動きは良く活気はあるが、業種的に燃料高の経費負担が大きく、利益が難しい状況である。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・以前は下請に出していた作業を、元請自社内で済ますようになってきている。また、付帯作業単価及び材料コストを考えてか、間に合わせ的なもので済ませているのが目に付く。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販促チラシの発注は前年の2割減であるが、競合他社に流れているケースがほとんどないことが深刻である。	
悪く なっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・民間の建築は受注増になっていると聞いているが、当社は公共土木舗装が中心のため、公共事業削減の影響を受けて受注額は前年比で3割減となっている。	

雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・個人住宅が堅調となり、年末需要があるためか、全 体として良い方向に向いている。県内中堅企業のメー カー、ソウトハウス等にも大きな受注があり、新規求 人が大幅に増加している。
		学校〔短期大 学〕（就職担 当）	求人数の動き	・業種、職種に偏りなく、求人の追加募集等の依頼が きている。2～3年前の同時期と比較してもその数は 大幅に増えており、企業の積極採用等の結果、採用活 動がこの時期まで及んでいる。
	変わらない	人材派遣会社 （経営者）	求職者数の動き	・求人数はほぼ同じくらい出ているが、求職者数、人 の動きが少ない。電機、電子、機械、自動車関連等の 製造関係に動きはみられなかった。住宅関連の生産が 伸びてきているが、現人数での対応という状況であ る。
		人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・最近、企業からの求人の動きが止まっている。それ に比べて求職者の動きが活発化している。
		求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・製造業の募集は人材派遣及び業務請負が多く、正社 員募集広告は極端に少ない。依然としてサービス業の 求人は多く、なかでもパート、アルバイトが目立つ。
		求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・近隣のアウトレットが400名程度の求人募集を行う ため、12月に合同面接会を開催する。ここ2～3か 月はやや横ばい状態であったが、これをきっかけに雇用 が動き始めると見込んでいる。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は前月比27.5%増であるが、一般求人は 4月以降8月を除いて前年比での減少が続き、3,000 人台と低迷している。一方、パート求人は1,700人を 超え、平成15年10月以来の高水準となっている。企業 の正規雇用から非正規雇用への雇用形態の変化が著し く、今後も同様の傾向が続くので雇用に明るさは望め ない。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数はわずかながら増加している状況であ る。しかし、増加しているのはパートや臨時採用等が 多く、求職者の望んでいる、正社員として長く働きた いという条件とかけ離れていることから、ミスマッチ を解消する要因となっていない。
	やや悪く なっている	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求職者数の動き	・求職者の応募反応が極端に悪くなっている。当社だ けではなく、雑誌等あらゆる媒体で軒並み例年になく 悪い。景気の悪化から、現状の勤め先で賃金が安いな どの不満があっても、他も変わらないかもっと悪いだ ろうということで辞めないでいる。
悪く なっている	-	-	-	